

第43回 構造パースから通り図を作成しよう

このテクニカル講座は、Ver 4.01c を基に作成しております。

【仕様・構造図】プログラムで構造図を作成し、内容を**構造パース**で見ることができます。構造パースでは、プログラムが診断した**問題箇所**のチェックや**通り図**の作成をすることができます。各構造図の作業画面を分割して構造パースを表示させて、問題箇所のチェックと修正を同時に行うこともできます。

構造図作成後、[自動積算拾い出し]をするのであれば構造図の内容がそのまま拾い出し内容として反映されますので、問題箇所のチェックも重要になることと思います。

今回は、構造パースの**表示設定**(各部材表示の有無)、**問題箇所**のチェックと修正、**通り図**の作成、構造パースの**出力**(カラーパース・線パース)について解説していきます。

Step 1 構造パースの表示と表示設定

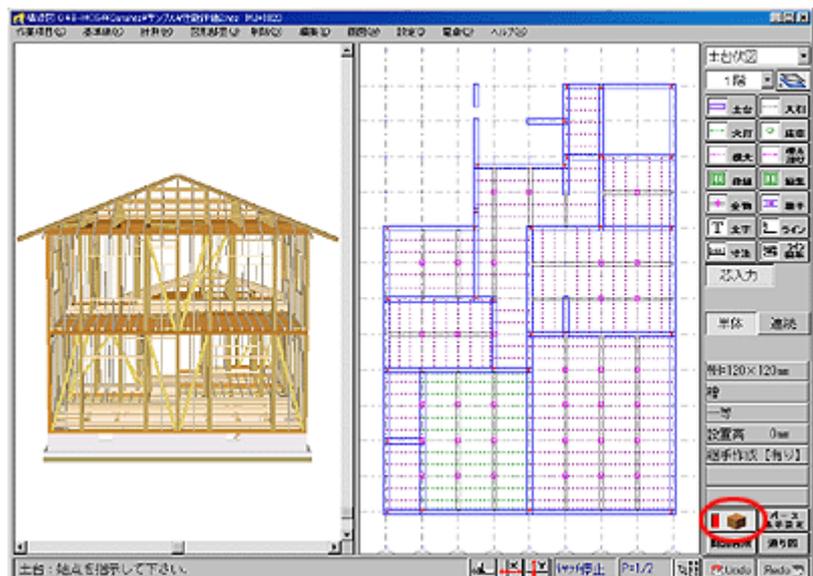
構造図作業画面を分割して構造パースを表示させてみましょう。

[基礎伏図]・[土台伏図]・[柱伏図]・[小屋伏図]・[屋根伏図]のいずれかの構造図面を表示させます。

構造図面の表示は、【平面図】プログラムの[作業項目]メニュー / [仕様・構造図]を選択し、[構造図面]メニューから各構造図を選択することで表示させることができます。

画面右下部の  ボタンをクリックすると、画面が分割され右画面に構造パース、左画面に構造図が表示されます。

構造パース内をドラッグすることで視点を変更することができます。



！ パース表示設定

画面右下部の **パース表示設定** を選択します。

[部材表示の設定]ダイアログが表示されます。

「○」の部材が部材名右部の色で表示され、「×」の部材が非表示となります。部材名をクリックすることで、「○」と「×」を切り替えることができます。

[全表示]・[全取消]ボタンをクリックすると各構造図の表示・非表示を設定することができます。

各部材名右部の色部分ををクリックすることで色の変更ができます。

設定が終了したら[了解]ボタンを選択します。

色の変更内容を保存するときは、[部材色の保存]をチェックして[了解]ボタンをクリックします。



Step 2 問題箇所のチェックと修正

作成した構造図の問題箇所を表示させてみます。

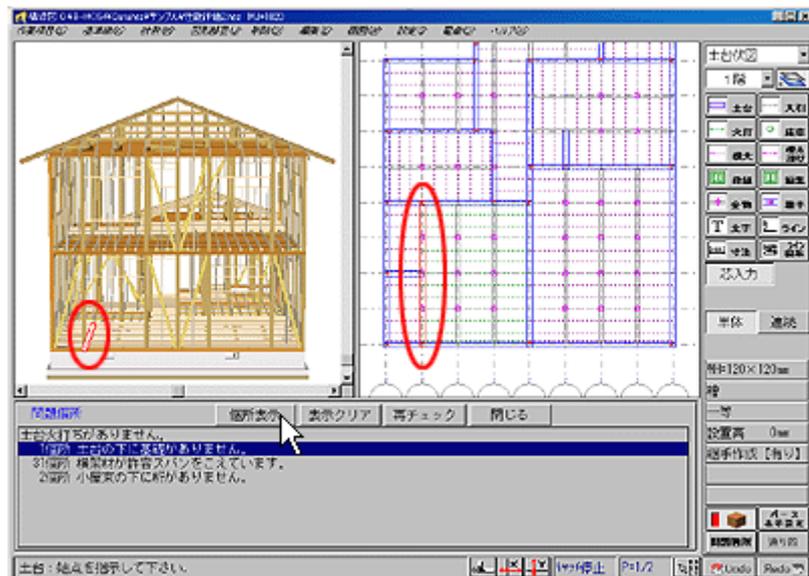
画面右下部の **問題箇所** を選択します。

画面下部に問題箇所が表示されます。

問題箇所の項目を選択し、[個所表示]ボタンをクリックすると、構造パース・構造図内の該当する部材が赤く表示されますので、問題に応じて構造図を修正することができます。

問題箇所を修正した場合は、[再チェック]ボタンで問題点を再表示させます。

チェック・修正が終了したら[閉じる]ボタンをクリックします。



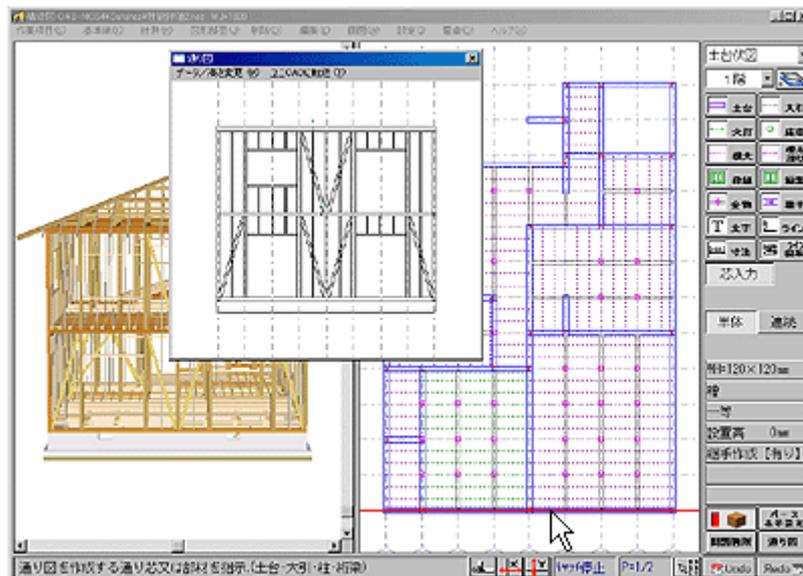
構造パースを表示させた状態で構造図を修正したときは、[Undo]・[Redo]ができません。構造パースの表示を OFF にして[Undo]・[Redo]してください。

Step 3 通り図の作成

通り図を作成してみましょう。

構造図面内の**通り芯**または**土台・大引・柱・桁梁**をクリックすると、[通り図]ウィンドウ内に通り図が表示されます。

構造図内には、作成されている通り図の場所が赤いラインで示されます。



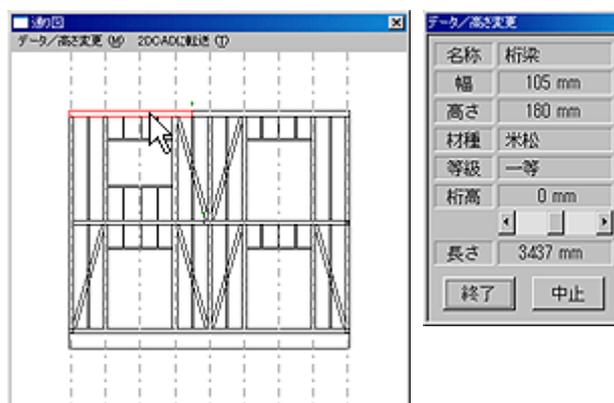
01. データ/高さ変更

通り図に表示されている桁梁・土台の内容を変更することができます。

[データ/高さ変更]メニューを選択し、変更する桁梁・土台をクリックします。

[データ/高さ変更]ダイアログが表示されます。**幅・高さ・材種・等級・桁高(基準高)**をクリックすることで変更することができます。

設定が終了したら[終了]ボタンをクリックします。

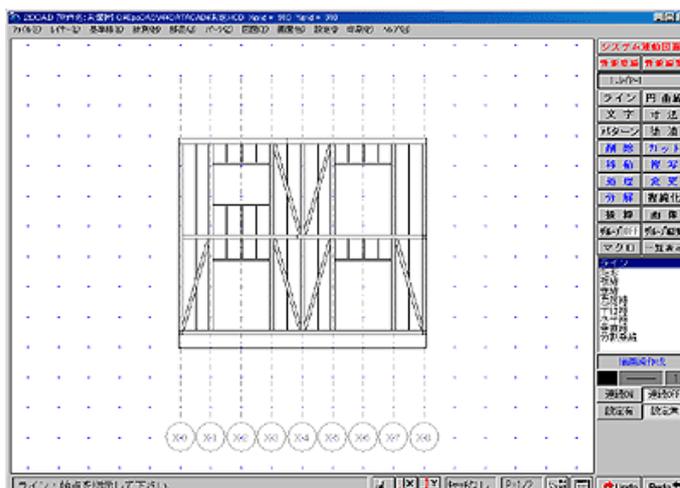


02. 2DCADに転送

通り図に加筆・印刷するときは、【2DCAD】プログラムへ転送を行います。

[2DCADに転送]メニューを選択します。

【2DCAD】プログラムが起動されます。作業画面内をクリックして通り図を配置します。



Step 4 構造パースの出力

構造パースを出力してみましょう。
出力はカラーパースと線パース、どちらでもできます。

01. カラーパース

画面右上部の  ボタンを ON にし、構造パースをカラー表示させます。
[設定]メニュー / [背景色-黒]・[背景色-白]で背景色を選択できます。

出力する角度等を設定し、[画面出力]メニュー / [着色画面出力]を選択します。

出力する画像のファイル名・サイズを設定し、[了解]ボタンをクリックします。

印刷するときは、【Hプリント】プログラムなどで印刷してください。



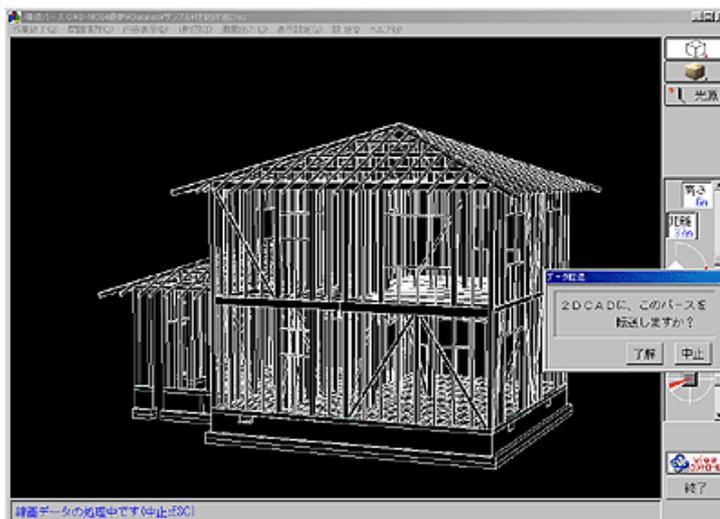
02. 線パース

画面右上部の  ボタンを ON にし、構造パースを線パース表示させます。
[表示設定]メニューで部材ごとにライン色を設定することができます。

出力する角度等を設定し、[画面出力]メニュー / [線パース出力]を選択します。

陰線処理され、【2DCAD】プログラムへ転送するメッセージが表示されます。

[了解]ボタンをクリックすると、【2DCAD】プログラムが起動されます。作業画面内をクリックして構造パースを配置します。



次回予告 住宅性能評価を使ってみよう

2005/12/16 公開予定
See You Next Time